

令和6年度の全国的な豪雨災害について

1 令和6年7月の大雨特別警報(山形県)による大雨被害

7月24日から26日にかけて梅雨前線が北日本に停滞。局地的に猛烈な雨が降り、山形県では、25日の昼過ぎと夜遅くに線状降水帯が発生し、大雨特別警報を2度発表した。

- 7月24日～26日 東北地方では、24日から26日にかけての3日間の降水量が400ミリを超え、平年の7月の月降水量を上回る記録的な大雨となった。この大雨において、気象庁は25日の昼過ぎと夜遅くに、山形県の一部の市町村を対象に大雨特別警報を発表した。この大雨の影響で、山形県を中心に、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。

(全国の被害状況)

※全国の被害状況は8月8日時点の内閣府防災担当集計によるもの。

被害状況

- ・人的被害 死者3名、行方不明者1名
- ・住家被害 全壊9棟、半壊9棟、一部破損12棟
床上浸水439棟、床下浸水959棟

河川氾濫等の発生状況

- ・13水系39河川

内水氾濫等の発生状況

- ・10河川11箇所

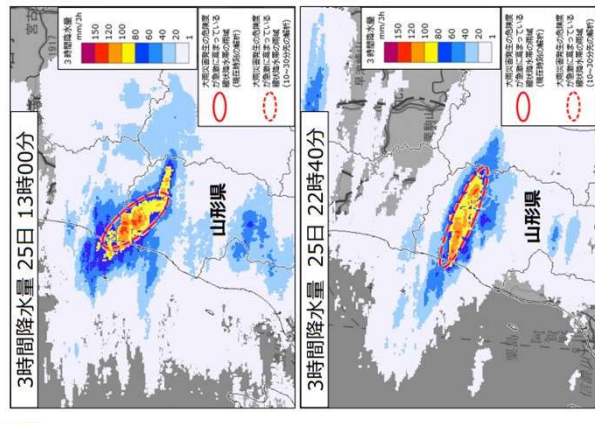
土砂災害発生状況

- ・66件(北海道1、岩手県2、秋田県6、
山形県56、滋賀県1)

(京都市域に大きな被害なし)

河川の被災状況について

令和6年7月28日
県土整備部



出典：山形県災害対策本部員会議資料

出典：気象庁HP

令和6年度の全国的な豪雨災害について

2 令和6年9月の大雨特別警報(石川県)による大雨被害

9月20日頃から前線が日本海から東北地方付近に停滞。前線上の低気圧や台風第14号から変わった低気圧の影響もあり、東北地方から西日本にかけての広い範囲で大雨となった。

- 9月20日～22日 秋田県では20日明け方、石川県では21日午前中に線状降水帯が発生した。石川県能登では、線状降水帯により大雨災害の危険度が急激に高まったことから、21日に輪島市、珠洲市及び能登町に大雨特別警報を発表した。石川県の多いところでは20日から22日までの総降水量が500ミリを超え、9月1か月間の平年の降水量の2倍を上回るなど、北陸地方や東北地方の日本海側では記録的な大雨となった。

(全国の被害状況)

被害状況

※全国の被害状況は10月10日時点
の内閣府防災担当集計によるもの。

- ・人的被害 死者15名
- ・住家被害 全壊16棟
- 床下浸水163棟、床下浸水264棟

河川氾濫等の発生状況

- ・21水系28河川

土砂災害発生状況

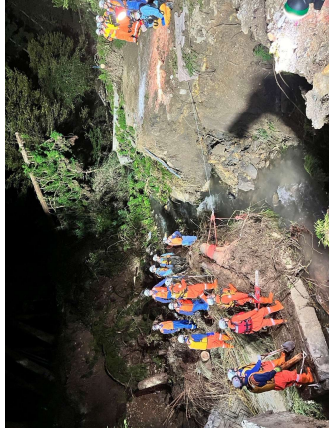
- ・121件(宮城県1、山形県1、新潟県2、
石川県116、熊本県1)

【京都市からの支援状況】

9月21日から10月2日の間、本市消防局の緊急消防援助隊が石川県奥能登地域に派遣され、救助活動等を実施する富山県及び福井県の指揮支援活動や、上空からの捜索及び救助活動を実施した。(活動人数：延べ32名)

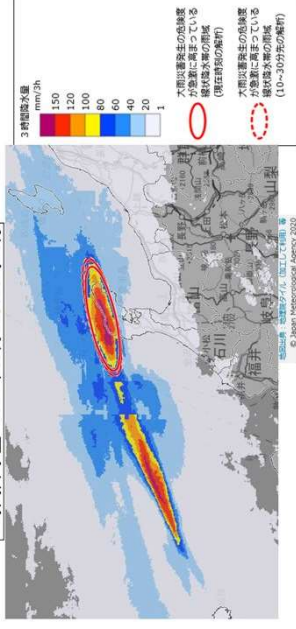


土砂により埋没した建物からの救出活動

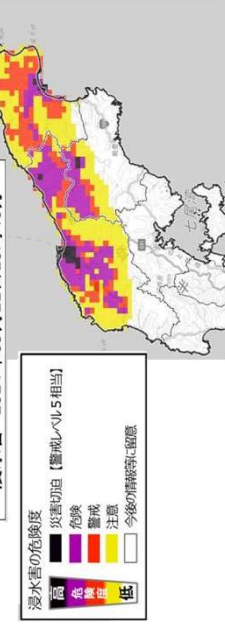


各関係機関と連携した捜索活動

3時間降水量 2024年09月21日10時40分



浸水害 2024年09月21日10時40分



資料提供：消防局

出典：気象庁HP